



妙教寺だより

第26号

平成21年元旦

萬物 光輝



平成二十一年

霹靂火己丑歳

元旦

年頭のご挨拶

妙教寺第七世
元寇園教会第五世

順信院日薫

荒木英知

誕八百年に伴う宗門運動が開始され、長期に亘る諸々の事業計画が啓発されています。

當山においても、発願・護持推進のための、慶讃記念事業の第一歩を踏み出すために、昨年、五月の檀信徒総会において、慶讃委員会等を立ち上げて、計画の立案や事業内容を推進していくことを確認いたし、皆様方の協賛を得ることが出来ました。

慶讃委員会設立へ

いよいよ本年度より、早急に「慶讃委員会」を設立し、妙教寺慶讃記念事業を推進するにあたり、「宗門大法

要」、「第一期祖山総登詣団参」、「宗門慶讃勧誘募金支援」、「慶讃記念大法要」、「妙教寺の事業計画」等を宗門と連携して、妙教寺の今後の発展に寄与したいと総代役員一同思考いたしておりますので、皆様のご賛同御協力を宜しく願います。

特に、清正公ご入滅四〇〇年の慶事を平成二十二年にお迎えするため、昨年度の諸事業のうち、十月二十二日に宗門が提唱する「祖山総登詣団参」が福岡県宗務所主催で「福岡県身延大法要」が奉行され、県内ご寺院檀信徒参加者数五百五十名の方々の参加で、お題目結縁の燈の法会に、當山から十七名のお檀家と共に身延山大本堂での法要に参列することができました。

三寺合同団参

今回の団参は、十月二十日～二十五日、3泊4日で、妙教寺・大安寺・圓頓寺三ヶ寺合同で独自の行程を企画いたし、四十八名の皆様と諸本山を訪ねるお参りでは、日蓮宗の総本山「身延山久遠寺」や村雲御所「瑞龍寺」、日蓮聖人比叡山遊学の地「定光院」、日像聖人の霊跡の京都諸本山「妙覚寺・妙顕寺・本法寺・立本寺」などへ四十八名のご信者の参加で、皆さんと霊山へ赴く契を結ぼうと懇願しながら、信行の研鑽成就と菩薩道を求める報恩参拝が出来ました。

宗祖が、波木井殿へ宛てられたお手紙に、「身延山へ分入て、山中に居して法華経を昼夜読誦し奉り候へば、

三世の諸仏十方の諸仏菩薩も此砌に御座らん、釈迦仏は霊山に居して八ヶ年法華経を説給ふ、日蓮は身延山に居して九ヶ年の読誦也。

伝教大師は比叡山に居して三十余年の法華経の行者也、然りといえども、彼山は濁れる山也、我此山は天竺の霊山にも勝れ、日域の比叡山にも勝れたり、然れば吹風も、ゆるぐ木草も流るる水の音迄も、此山には、妙法の五字を唱へずと云ふ事なし、日蓮が弟子檀那等は、此山(身延山)を本として参るべし、此即霊山の契也。」と、七百二十八年の時空を越えて、私共に、「ご遺言された慈しみを受けて、各所の想いをのせ、体感した感激を振り返りたいと思います。今回の団参では、「日蓮大聖人」が永遠に魂を留める

といわれた、身延山大本堂での早朝六時から荘厳なお勤め。(写真A)



【写真A】



【写真B】

宗祖が在山中にしばしば登山せられ、東方房州安房の故郷の両親を偲んで報恩のご回向を捧げ、至孝のまことをつくされたという奥の院思親閣。(写真B)

宿坊は本阿弥光悦の筆山門の扁額行学院とある覚林坊での手作りの精進料理は格別でした。(写真C)



【写真C】

又、當山ではなかなか企画しない京都諸本山への参拝で、京都開教の祖「日像聖人」の徳化に触れることができました(写真D)



行者姿の団参参加者の皆さん



【写真D】 京都大本山妙顕寺山門にて

又、参加者の皆さんは、日蓮大聖人の信者・妙教寺の檀家として、お曼荼羅筆の行衣（経帷子）と袈裟を全員が着帯されていました。

この行衣は、私たちの、霊山浄土への旅立ちの装束になるので、霊跡寺院を巡礼で頂くご朱印の功德を、自らが、参拝し、修行を重ね、魂を込めながら、功德を積んでいました。

最後に、南条殿御返事に「此の契に望まん輩は無始の罪障たちまちに消滅し、三業の悪転じて三徳を成ぜん」と利生を授かる道を求めながら、現世安穩・後生善処を信受する旅でもありました。

今後とも、當山の護持運営と、お題目の灯を一人でも多く伝える使命の本分をもつて、教宣拡張に邁進し寺門興隆に精進されますよう祈念いたします。

南無妙法蓮華經

各会役員挨拶

妙教寺筆頭総代

村上 卯三

新年明けまして

おめでとう御座居ます

平成二十一年元旦をお迎えて、檀信徒の皆様方の益々の健康と御繁栄をお祈り申し上げます。

私達が生かされている事に感謝し、寸暇も休む事なく働き続ける心臓や腎臓が鼓動を打ち続けて頑張っています。

これも私達が仏の道に入り「いのち」は仏様からの贈り物と言う事を忘れず今年も檀信徒老いも若きも一つの心になり法城（お寺）をお守りして行く事こそ天に先立たれ

た故人への務めと信じます。

今年は、日蓮大聖人御生誕八〇〇年慶讃記念事業にむけての大事な年となります、又、亡 当山第五世日貫上人の第七回忌の年ともなります。

檀信徒の皆様様の御協力を年頭にあたり心よりお願い申し上げます。

南無妙法蓮華經



信行会に参加される村上総代

妙教寺婦人会会長

古賀 静枝

新春のお慶びを

申し上げます

婦人会の皆様には多大なるご協力を得乍ら、今日まで過ごしてまいりました。私は今年傘壽歳を向かえる事が出来ましたのも、信仰のお陰と感謝致しております。



合同団参に参加された古賀会長(右側)と、村上英子さん

昨年は団参にも参加させて頂き、楽しみ乍ら学ぶ事

が出来、この偉大さなど感じないものを感じ、お金では買えない体験をさせて頂き、自然に恵まれた地球に感謝の気持ちで一杯です。

もうすぐ婦人会主催の寒修行が行われます、一人でも多く皆様のお詣りをお待ちしております。そして、今年もいい年であります様に、皆様と共に精進してまいりたいと願っております。よろしくお願い致します。

南無妙法蓮華經

妙教寺信行会会長

植村 俊親

平成二十一年度己丑歳の新春を迎え、謹んで新年のご

祝辞を申し上げます。檀信徒皆様のご健康を並に御発展をお祈り申し上げます。

信行会では昨年度、皆様に日蓮聖人の御妙判を一日から三十一日までの毎日お勤めされる時の参考に配布しました。この中の一部をご紹介します。

「事理供養御書」いわく

一切の神仏を敬いたてまつる始めの句には、南無と申す文字をおき候なり。南無と申すは如何なる事ぞと申すに、南無と申すは天竺のことばにて候。漢土・日本には帰命と申す。帰命と申すは、我が命を佛に奉ると申す事なり。我が身には分に随いて妻子・眷属・所領・金銀等をもてる人々もあり

新年明けましておめでとう御座います

平成二十一年 丑歳元旦

妙教寺 筆頭総代

護持会会長 村上 卯三

また財なき人もあり。財あるも財なきも、命と申す財に過ぎて候財は候わず。されば古の聖人賢人と申すは、命を佛にまいらせて佛にはなり候なり。

毎日唱える、南無妙法蓮華經の南無とはの参考に、

「戒法門」

仁と云うは、人を憐れみ生を慈しみ、物を育くむ心なり。義と云うは、謂われを違えず、邪なる事をなさず、万事に理を失わずる是なり。礼と云うは、父を敬い母を敬い、天道佛神を貴び、ないがしろにせざるを云うなり。智と云うは、万事の有様をよく知りて、善事悪事を弁え、なすまじ

き事をなさず、なすべき事をなす是なり。信と云うは、事に於いて誠を致し、僻事をなさず、心の底に思いを解る是なり

毎日の生活に、仁、義、礼、智、信を忘れないために参考までに。

信行会も、段々と充実してまいりました、皆様の参加をお待ちしております。

南無妙法蓮華經



折の参拝妙寺本本熊
植村信行会会長

妙教寺総代

松尾 勝次

合掌

あけまして

おめでと

ございます

去年は、国内・国外で原油の値上がり、政界では国会の空転、株の暴落、一部の者による人々を殺傷する事件が数多く報じられた年でありました。

私たち、お題目を中心に信仰して生きて行く者は、どんな時代が来ても、心を揺るがすことなく、人として生きて行かなければならぬと考えます。

こんな時代こそ、お題目をもとに家族が一つになり、お題目を中心とした心で、地域社会にお題目の心を弘めて行く事が社会の為にな

るのではないかと思えます。私自身も、妙教寺の総代として又、弟がお寺様にお世話になつている事をより自覚して、当山の寺門興隆と宗門運動への積極的な参加などに努力してまいりたいと思えます。

今年は、波乱の年ではなく、皆様と共に何事もなく、すこやかに過ごせる年になるよう、年頭にあたりお祈り申し上げます。

今年もどうぞよろしく、お願い致します。

南無妙法蓮華經



行を唱題するに於いて
松尾総代

檀信徒投稿覧

祖父の法事

妙教寺総代

白水 岩人

過日、祖父の三十三回忌の法事を執り行いました。法事の方法等を色々と考えましたが、祖父のみならず、ご先祖の皆さんが祭つてあるお寺ですることが、親族・親戚が一同に会することもあつて、祖父には一番供養になるのではとの思いからです。

華厳な本堂二階にて、高野英典上人により、朗々と読経も進み厳肅な中で無事終えることが出来ました。読経終了後は、昼食供養をケイタリングにより、一階の大広間にて行いました。

ケイタリングは、福岡市のSホテルにお願いし、会場の設営準備から、お茶のおもてなしと、食後の後片付けまでお願いでき、一番うれしかった事は、その場で調理して温かい料理を一品一品を順に出して頂いたことで、料亭と同様な宴席を楽しむことが出来ました。

この様な雰囲気の中で、祖父をはじめご先祖様の皆さんの在りし日の思い出話しに花が咲き祖父も参列者も大いに満足していただけたのではと思つています。以後の法事に際しましても、今後

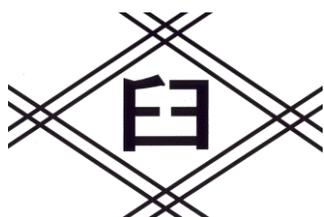
ともお寺さんにて執り行いたいと、意を強く思つた次第です。

こんにちの法事は、自宅でお経を挙げてもらい、昼食供養は料理店等に出向いて行う風潮をよく聞きますが、皆様も、皆様のお寺である妙教寺で行うことも選択肢に入れてみませんか。

南無妙法蓮華經



総会で発言される白水総代



建設業

早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有)白井組

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9 TEL(092)932-7397

身延山・京都諸本山

紅葉ヶ丘地区

団参に参加して

原田純子

十月二十二日早朝、福岡空港より東京羽田到着後、バスにて身延山に向かいました。ガイドさんの説明を聞きながら、今から始まる四日間の旅にうれしいばかりです。

二時より福岡県合同の身延大法要が久遠寺大本堂で行われました。厳かな中で正面の日蓮大聖人を拝顔した時、感極まる思いがしました。

また、この度再建された五重塔を拝見した時は、言葉では、言い表せないほどの、感動がありました。(写真A)

その後、ロープウェイで奥の院思親閣に参拝、宿坊覚林坊に入りました。夕食には地元特産の湯葉をふんだんに使

った美味しい精進料理をいただき、ワイン風呂にまで入れていただきました。



【写真A】

二日目は、早朝より久遠寺大本堂の朝勤に参加、食事の後、バスでの長い旅が、琵琶湖へと続きます。

その後、比叡山・京都と深まりゆく秋の景色の中、寺院めぐりを堪能しました。

思い返せば、平成十七年十月に行われた、三寺合同団参に参加させていただき、そ



琵琶湖のホテルにて夕食をされる原田さん(左より2人目)

れから妙教寺の行事に参加する様になりました。祈祷祭、信行会、施餓鬼供養会と参加する内に、皆様とも親しくしていただき、又、友人も出来ました。その中での今回の団参は、御先祖様、夫への供養、平凡な日常に感謝することができ、意義のある旅でした。

有難度う御座居ました。
南無妙法蓮華經

御祝い・法事などの引き物、ご進物・ご贈答に

しよ子本舗吉野堂のお菓子を御愛用下さい。



九州限定新発売

柔らかいクッキー

博多やわかあ



名菓 **しよ子** 大野城サティ店
大野城市錦町4丁目1-1 大野城サティ1階
TEL・FAX 092-592-2126

日蓮大聖人のおことば ⑤

松野殿御返事

魚の子は多けれども

魚となるは少なく、

菴羅樹の花は多くさげども

菓になるは少なし。

人も又此の如し。

菩提心を発す人は多けれども

退せずして実の道に入る者は少し、

都て凡夫の菩提心は多く悪縁に

たぼらかされて、事にふれて移り

やすき物也。

(聖人五十五歳 建治二年 身延にて)



日蓮聖人は、十二歳で当時天台宗の清澄寺へ、弟子として勉学をする為、立願登山されました

私達が信仰をする目的は何でしょうか？

仏祖お三宝様への報恩感謝の為、各家御先祖様への追善供養の為、自らの人格向上の為等さまざまでしょう、つまり私達が心身共に健康で幸せな生活環境を得る為ではないでしょうか。しかし、そうした気持ちや願いや望みを適える為にと、供養料や祈願料などとして、お金を払い後はお寺任せ、お上人任せでは、お店で物

を買うのと一緒になってしまいます。お願いする側も、自ら仏道修行(菩薩行)に励み努力をすることが思いを適える近道であり、信仰をするという事につながるのではないのでしょうか。

広義的にいえば信仰とは、神仏を堅く信じその教えを守り実行して行く事ではないのでしょうか。

日蓮大聖人は、このお手紙の中で菩提心(仏果を得ようとして仏道を行ずる心)を発す人は多いけれども、時間が過つにつれて生活環境の変化や、まちがった解釈をしたり、回りの片寄った考え方の人の意見を耳にすることによって、惑わされ正しい方向を見失ってしまうことが多々あるので、心して強い真念をもって、仏道修行に励みなさいと教示されてお

られます。

※松野殿（松野六郎左衛門）：当時、駿河国（現静岡県）松野の領主で、日蓮聖人直弟子六老僧外伝の祖「蓮華阿闍梨日持上人」の父

※菴羅樹：マンゴー樹のこと
「各資料参考」（高野 英典）



加藤清正公甲冑形立像

（雪山御守護神）

日本の至宝彫刻家「北村西望」昭和九年の作品。

昭和十年（一九三五）の清



【写真A】
本堂守護神堂安置

正公三二五年忌にあわせて、熊本本妙寺では、その記念事業として、清正公の銅像を製作、安置することとし、その製作を長崎出身の彫刻家北村西望氏に依頼し、同年四月に高さ八・二mの銅像が信者達の手によって、据え付けられた。一時、昭和十九年四月戦争末期の金属供出で撤去されたが、昭和三十五年四月に再建された。

さて、当山の御像は、十五年程前に当山第五世日貫上人代に勧請されたもので、写真Aのように小型ではあるが、北村西望本人の作品であることの証明した直筆の色紙と写真に本人の号印が押した物が付けられています。（写真B）



【写真B】庫裡仏間安置

さて、皆様もご存じのように、お清正公様は武将としてだけでなく、築城を始め治山、治水、干拓等の土木技術にも傑出しておられました。

もちろん、無類の法華経信仰者であられた清正公は、大阪に現当二世祈願のため、大阪に本妙寺を創建されたが、肥後（現熊本県）の領主

となられた為、これを熊本城内に移建された。

お清正公の肥後入部と本妙寺の移建によって、今までほとんど無かった、肥後国における日蓮教団の活動が目まぐるしく活発化した。

現在でも清正公信仰は根強く宗派を超えた信仰を集め、庶民の法華信仰にみられる一特色を示し、清正公信仰を通じて唱題に親しみ、法華信仰に入信する経路が、熊本はもとより九州における法華信仰発展に、多大なる影響を与えられた。

来る、平成二十二年、御入滅四〇〇年の慶事を迎えるにあたり、お清正公様の無類のご功績とご遺徳に感謝申し上げ皆様と共に報恩の誠を尽したいと思います。

「日蓮宗事典 参考」
（高野 英典）

信行会より

仏事作法



《日々の勤行のしかた》

◎ 準備

灯明に火を着けお線香を立てます(日蓮宗では通常三本立てます)。経本を出し念珠を左手にかけます(念珠は使い回しせず一人に一本ずつ準備しましょう)。姿勢を正し合掌・礼拝します。

◎ 勤行の基本的な順序

①勸請 (久遠釈尊をはじめ法華経守護の諸仏諸天を招く)又は、①奉請(唯願法界海……もしくはお題目三唱でもよい)
②開経偈 「無常甚深微妙の法は……」(法華経

を誦する心構えを正す)

③読経 (法華経の肝要の部分を読誦する、主に「方便品第二」・「如来寿量品第十六の自我偈」を読誦する)

④運想(うんぞう) 「唱えたてまつる妙法は……」(お題目を唱える意義を憶念する)

又は④御妙判(みよせうはん) (御遺文の一節を選んで誦え信仰の増進を誓う。緑の経本の中に一日〜三十日までの御遺文があるので参考にして下さい。)

⑤唱題 お題目「南無妙法蓮華経」をお唱えする(三十遍〜百遍くらい心を込

めて唱える)

⑥宝塔偈(ほうとうげ) 「此経難持……」(法華経を信じ行なうことの難しさを思いながらも、

それゆえに法華経の功德の素晴らしさを説いている)

⑦回向(えこう) (簡要な回向文を唱えて信仰を誓い、御本尊の加被を念じる。お唱えしたお経や、お題目の功德を回りに振り向け、共に仏果を得る)経本参照

⑧四誓(よんせい) 「衆生無辺誓願度……」(仏道を極める四つの誓い)

⑨お題目三唱

これは、ほんの一例なので、時間の無いときは、お自我偈とお題目でもよいし、時間のある時は、読経と唱題をより丁寧にお勤めするとよいでしょう。(もつと詳しく勉強されたい方は、信行会へのご参加をお勧めします)

(高野 英典)



家族みんなで仏壇に
手をあわせましょう

大安寺法燈継承式

大安寺第四世

秋吉 英守 (旧姓 吉田)

合掌

新しい年を迎え妙教寺檀信徒の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私事、自坊大安寺も昨年十一月十六日、県宗務所長 松尾周学僧正をはじめ、県内外の各御寺院方にご参列を賜り、檀信徒合せて約二百名の方々にご参加頂き、大安寺第四世の法燈継承式を無事に終えることが出来ました。妙教寺様からも約二十名のご参拝を頂きました事を、心より深く感謝申し上げます。

ご存じのとおり、当山妙教寺様は、私の里寺であります、立正大学を卒業してすぐに当山に戻り、師僧であった当山第五世日貫上人の訓育を賜り、約十八年仏祖お三宝様にご給仕させて頂きました。現在でも、亡両親がこちらの納骨堂にお世話になっております。そのことから、私にとつても大切な関係の深いお寺です。

今後とも、今まで以上に大安寺との交流を深めさせて頂ければと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。簡単ではありますが、新年のご挨拶と御礼とさせていただきます。



新住職として挨拶をされる秋吉英守上人



法燈継承式に参加された、当山の檀家の皆さん

2021年 (平成33年)

宗祖日蓮大聖人御生誕 800年

2028年 (平成40年)

妙教寺開基開創 150周年



祝 御結婚

薫さんへ結婚おめでとう
ついでに...



【写真A】



【写真B】

昨年十一月二十八日、当
山御住職ご長女 薫さんが
目出たくご結婚されました。
お相手は、同じ熊本県の益城
町日真寺副住職 澤村眞脩
上人です。

日真寺正干与人 東光院
御山主 塚本哲人僧正御夫
妻のご媒酌により、恵法縁
頭 長延寺御山主 原 恵晋
僧正式長のもと、真新しい本
堂の仏祖御三宝様の御前に
て、結婚の式典が厳粛に挙行
されました。

又、式終了後、熊本市内の
「ホテル日航熊本」に会場を

(写真A・B)

移し、県内外多数のお上人
様方をはじめご縁の方々約
三百名の臨席のもと、盛大に
ご披露宴が執り行われまし
た。

左の写真のようモデルさん
のように、大変美しく、ドレス
姿がとてもお似合いの薫さん
でした。(写真C)
当山からも、総代役員の方
々々七名が出席されました。

“お二人の幾久しき幸せを
心よりお祈り申し上げます”



【写真C】

拜む心で尊い品を

梅谷仏具店

本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
TEL 092-271-0456
年中無休 駐車場完備
支店 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
TEL 092-806-7499





10/12 お会式花づくり 婦人会の皆さんと有志の方で行いました



9/29 西筑組主催「お題目のつどい」西区妙泉寺於て



10月
当山の庭に咲いたお会式桜



10/22～25 身延山三寺合同団参
48名の参加による報恩感謝の参拝
が出来ました（久遠寺大本堂前）

行事スナップあれこれ



12/14 年末煤払い大掃除
可愛いもみじの手もがんばりました。



12/7 三沢清正公堂年末大掃除
檀信徒有志の方約20名の参加頂きました



11/23 川久保地区 船越
順一さん作の満開に咲いた菊鉢植え（玉つくり）

人の安全・車の保安・真心サービス

スピーディをモットーに

民間車検・国土交通省指定整備工場

井上自動車株式会社



本社

福岡市博多区麦野1丁目1-38

電話 (581)4607・3089 ☎812

FAX (581)4796 -0882

第二工場

福岡市博多区井相田2丁目3-25

電話 571-7376

全国ネットワークのロータス優良メンバー工場

俳句を募集しています

檀家の皆様に、当たよりを身近なものとして親しんで頂けるのではとの思いからと、皆様と一緒になつての誌面創りとの思いもありまして、文化欄の充実を図るための手始めに「俳句」の掲載を予定いたしています。

皆様におかれましては、「俳句」にご趣味をお持ちの方、または挑戦してみようと思いの方がいらつしやいましたら、次により是非振って応募くださいますようお願い申し上げます。

①季語は自由で一人二句以内とします。(一人でも多くの方の作品を掲載するため二句以内とさせて頂きま

②掲載は原則、作者の住所(例・春日市)、氏名を載せますが、雅号を希望される方は、その旨を記しておいてください。

③提出先は、平成21年5月末までに妙教寺まで、封筒に入れてお願いいたします。(郵送にても可)

今回は、熊本県山鹿市の圓頓寺筆頭総代 山下とし子様の作品をご紹介させていただきます。

(編集委員一同)

身延山大本堂落慶記念俳句入選作

◎ 大本堂成りて身延の天高し

圓頓寺たより五十号記念俳句

◎ 青き踏む何の迷ひもなき日かな

◎ 水の音どこより涼し谷川原

◎ 艾燃やす施餓鬼供養の善女達

◎ 目を閉じる頬へつたひぬ玉の汗

平成17年度～平成34年度

立正安国・お題目結縁運動

日蓮宗

寸言

『妙法尼御前御返事』

〃日蓮、幼少の時より仏法を学び候しが念願すらく、人の寿命は無常也。出る息は入る息を待つことなし。風の前の露、なお譬えにあらざ。賢きも、はかなきも、老いたるも、若きも、定めなき習いなり。されば、まず臨終の事を習て後に侘事を習うべし〃

高野英一上人 信行道場
修了 早く大荒行に……

上乘 上乘

松尾勝博氏 得度式終了
松尾英勝法師となる 早く
信行道場へ……上乘 上乘

吉田英守上人 秋吉英守
上人となり、大安寺住職と
なる、永年の努力が報われ
て…… 上乘 上乘

住職上人の御息女 薫様
熊本県益城の日真寺 澤村
上人と御結婚、若坊守様
へ…… 上乘 上乘

来賓のお上人のご挨拶に、
御宝前での薫様の読経の声
の大きさに驚かれ……

これは妙教寺に居られた時
に、坊守様の訓育の賜であ
ると痛感……感謝 感謝

(編集委員長 植村俊親)

あとがき

夕食後の散歩、まだまだ続
けていますが、一年たっても
体の調子などはいっこうにか
わりません。それどころか、
少し体重(特に腹回りか
な?)が増してきました。

しかし、散歩途中の街並み
は少しずつ変わって来ます。

地域の方々が反対されていた
高層マンションが建築中であつ
たり、地域の方々が切望され
ていた散歩道に街灯が設置
されたり、子ども達が待望し
ていた横断歩道が整備された
りと、手近かな処でも、時は

休むことなく、良きにつけ、
悪しきにつけ、時代のニーズ
に答えるべく、変遷しているよ
うです。(少しおおげさだった
かな……)

それともう一つ、特筆すべ

き変わった事は、私が散歩し
ている道中に限りますが、空
き缶・空きビン・ペットボトル

等のポイ捨てゴミが、一年前
と比べるとずいぶん減ってき
たことです。(行政の指導に
よります、マナーアップが着

実に浸透して来ているのでは
と実感しています)特にビ
ールの空き缶は、一週間に一
く二個とびっくりするほど減
ってきましたが、まだまだ、飲

酒運転の気風がなくなってい
ないことが、垣間見られま
す。

交通事故は被害者も加害
者も大変な心労が待っている
ようです。皆様、ご家族の
皆様様におかれまして、ご

先祖様に悪しき思いをさせ
ないためにも、飲酒運転撲滅
に心配り、気配りをお願いし
ます。

(編集副委員長 白水岩人)

平成二十一年行事予定（一月～七月まで）

◎一月一日(木)

・初参詣祝禱会

午前一時より

◎一月一日～三日

(木～土)

・新春三ヶ日一部経読誦会

午前八時より

◎一月十二日(成人の日)

・各家勧請守護神祭

・年頭施餓鬼供養会

・開運星祭り

・新春福引き大会

午後一時より

◎一月十八日(第三日曜)

・寒修行会(婦人会主催)

午前十時より

◎二月一日(第一日曜)

・月祈禱祭、節分追儺会

午前十時より

◎二月二十二日(第四日曜)

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎三月一日(第一日曜)

・月祈禱祭 午前十時より

◎三月十七～二十三日

(火～月)

・春季彼岸棚経廻り

早朝より

◎三月二十九日(第五日曜)

・春季彼岸施餓鬼供養会

午後一時より

◎四月五日(第一日曜)

・月祈禱祭 午前十時より

◎四月十二日(第二日曜)

・花まつり 釈尊降誕会

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎五月十日(第二日曜)

・月祈禱祭 午前十時より

◎五月三十一日(第五日曜)

・各家勧請守護神祭

・月施餓鬼供養会

・平成二十一年檀信徒総会

午後一時より

◎六月七日(第一日曜)

・月祈禱祭 午前十時より

◎六月二十八日(第四日曜)

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎七月五日(第一日曜)

・月祈禱祭 午前十時より

◎七月二十六日(第四日曜)

・土用丑秘法灸大祈禱会

・月施餓鬼供養会

午後一時より

◎毎月第一日曜日は

・信行会 (十二時より)

・三沢清正公堂お参り

(午後より)

※行事予定日は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送
 します案内でご確認下さい。

《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

○近代的格調高い

○耐久性にすぐれる

○御先祖様をおまつりするのに
 相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。

※くわしくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二十七号

春日山 妙教寺

〇九二(五八一)二二六六